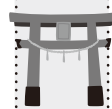


報 館 おがた

みんなが楽しむ
地域の情報を分担しよう



岡田神社を知ろう



自然と歴史に親しむ講座より

6月21日、

岡田公民館
において岡
田歴史研究
会の大澤道
直さんを講
師に、岡田神社の歴史につい
ての講座が開催されました。



岡田神社の歴史を創建の時
代・平安時代・武士の時代・
江戸時代・明治時代以降に区
分して、神社と岡田に關係す
るべき事を歴史資料や発掘調
査の結果を基に、研究会で勉
強してきた内容を聴くことが
できました。以下、内容の一
部を紹介します。

創建の時代

「白雉3年（652年）於加
田神社より柴宮として遷座
白雉5年（654年）、朝廷の
重臣が参列して遷座式が行わ
れた（赤羽文庫古文書より）」
とあり、今から1300年の

歴史がある神社であること
平安時代

岡田神社は『式内社』と
呼ばれ、阿礼神社・沙田神
社・穂高神社と共に、平安時
代の927年に編さんされた
「延喜式」という日本の法令集
の記録に残っている数少ない神
社であること

842年に描かれたものではな
いかという写し絵図資料「東間
見取図」を基に推測すると「岡
田神社本宮は今の伊深にあり、
現在の岡田神社は里宮といわ
れた。承和の地震（841年）
によって本宮が被害を受けた」
ことが読み取れる。また、平安
時代には土器生産の拠点的地
落が岡田神社周辺にあり、官
道と呼ばれる重要な交通路の
東山道が通る岡田は中心地で
あったのではないか。

武士の時代

12世紀には木曾義仲の重
臣、岡田親義が岡田神社の
下に館を築き、神社を加護

したと言われ、廃れていた神
社が復活したと考えられる。
その後信濃守になった源頼朝
の家の加賀美遠光は、次
郎丸館に移り、大堰の開削
など岡田との関わりを示す
説がある。

江戸時代

宿場が置かれた岡田町が氏
子として新たに加わり、下岡
田（現在の東区）、松岡、塩
倉、神沢が神社を支えるよう
になった。大きな特徴である、
参道が鍵の手に曲がっている
ことの謎についても街道との
関連性が話題になった。

明治時代以降

明治5年（1857年）
郷社に、大正8年（1919
年）神饌幣帛料供進神社と
いう格式に指定され、現在
は長野県神社庁に加盟して
いる。境
内には祠
が存在す
る摂社や
石碑も数
多い。

7世紀
中頃の白
雉年間か
ら現代に
至るまで、岡田神社と岡田
の歴史に思いを馳せたひと
時となりました。



岡田神社にまつわるエピソード

芝宮とは岡田神社のこと

岡田小学校

校歌

作詞 所 三男

千年の芝宮を背に

信濃国府址 深志の古城

見おろして

高く高く建つ 岡田小学校

幟立ても大仕事

今年も5月4・5日に例大祭
が行われ、境内では祭典や出
店などで多くの子どもたちや
人々で賑わいました。

例大祭には集落ごとに幟旗
を立てています。近年、人手
不足や高齢化、安全上の課題
から、常設の金属製ポールに
建て替えられるところが多く
なったものの、今年も境内や二
の鳥居などでは住民の方の協
力のもと、長さ10mの大幟が
立てられています。



「浦安の舞」を舞ってみて

「以前から友達と一緒にやり
たいなと思っていました。衣
装を着た時に少し緊張したけ
れど、楽しく練習でき、みん
なで踊りを合わせて舞えてよ

かった。
なかなか
かでき
ない体
験がで
きて嬉
しかっ
た。」



（東区
女性・
13歳）

岡田神社が遊び場だった

「60年くらい前になります
が、私が小学生のころ、学校
が終わると必ずというくらい、
6・7歳上くらいまでの上級
生と岡田神社の境内に集まっ
ては三角ベースをやって遊ん
でいました。ホームベースは社務
所近くの杉の木の下あたり。一
塁は狛犬の角、倉庫近くの杉
の木を超えたらホームランだっ
たと思います。こんな遊びの仲
間から何人もの高校球児が生
まれていました。」

（東区 男性・66歳）

一昨年、社叢に植樹したハ
ナモモを巡る遊歩道ができ、
自然と歴史を感じる散歩コー
スになっています。地域の歴
史を再認識すると共に地域に
根ざした文化が、人々の手に
よってひろがっていくことの
大切さを感じます。

岡田
ぼっと
ニュース

松岡伝統の山車

● 松岡 ●



山車の前に集まった子どもたち

5月5日は、岡田神社例大祭に合わせて、松岡町会の山車展示と餅投げが行われました。コロナ前までは山車保存会と学校PTAが協力して行っていた行事で、今年からは保存会と有志が中心で実施しました。

前日には、保存会の皆さま、学校PTAの方々、お餅作りを経験した卒業生、町会の方々など総勢30名ほどが集まり、山車の組み立てとお餅作りをしました。

晴天の下、お披露目された山車は圧巻の大きさで、大勢に見守られる中、山車を背景に法被を身にまとった撮影希望者の子どもと保存

会の皆さま、それぞれが記念撮影をしました。

お待ちかねの餅投げは、準備した約1500個の丸餅が投げられ、縁起を担いで多くのお餅を手にしたみんなの笑顔があちらこちらで見られました。「お腹いっぱいになるために頑張った!」という子や、さっそくその場で袋を開けて「生餅うまい」と食べる子などにぎやかな声を響かせていました。保存会会長からは、「餅投げが盛況に終わったのが何よりです。山車曳きが2の次になってしまふのは仕方ないですがね。」と無事終えた充実感が伝わってきました。

地域の行事がコロナ禍4年間見送りとなり、以前の山車曳きを経験したことのない子どもと保護者が大半を占める小学生年代となりました。そのため昨年に引き続き山車曳きはいきませんでした。形を変えて有志を集めての継承が続いています。

少子化に拍車がかかり子どもと地域の関りが変化していく中、子どもたちの心に残る地域の場面を残すことは、岡田地区に愛着を持つて根ざしていく未来の大人たちにとって貴重な経験となるのではないかと感じられます。

(松岡 重藤聖子)

岡田保育園地域世代間交流

～かわいいお花がいっぱいだね～

岡田保育園年中さんのすみれ組 27 人は 6 月 19 日、マリーゴールドやミソハギの花苗をプランターに植え、園庭に彩りを添えました。



岡田地区福祉ひろばで行われている地域世代間交流の一環で、集まった地域の方々 20 人と共にお花植えと触れ合い遊び交流会を行いました。

まず先生からお花の説明があり、地域のみなさんが植える場所とやり方を指導すると、園児は手のひらいっぱいのお花を支えながら、ポットをひっくり返して苗を取り出し、穴をあけた所に入れて優しく土をかぶせました。

その後、ホールでの触れ合い遊びは、折り紙や積み木、お手玉など園児の好きな遊びを一緒に楽しみました。「相変わらずみんな元気。パワーももらえるけれど座れもしない



わね。」参加者は汗を拭いながら笑い声でした。最後は園児がお礼のお

歌を元気に大きな声で披露してくれました。次回、秋は年少さんとの交流会を予定しています。

病院での常勤時は栄養科の回診を主導しましたが、一番楽しかったのは「林修の今でしょ講座」に約5年前に出演できた事です。牡蠣に亜鉛が多く含まれ、免疫に良く効き手術前後でも必要な事を説明しました。2年前に学会から頼まれて英文論文も18ページ書きました。自分としては良かったのは日本では山形から神戸まで出かけて、講演会の後に多くの質問をして頂いた事で。みんなと会話をかわす事が、どんな食事をする事よりも楽しく惚けないための秘訣だと自覚しました。

病気を患う人は亜鉛やマグネシウム、セレンが必要なので卵、バナナ、しらす等を食べる事は必須ですが、それより話して楽しい人とはできるだけ話し続ける事が大事でした。仕事が減ったのでウクレレを練習する時間ができ、岡田町子ども食堂で披露する機会をいただき、若いお父さんお母さん子ども達と話す事で凄く元気をもらっています。

イライラした時には飲む漢方、柴胡加竜骨牡蠣湯を飲みますが、それより子ども食堂へ出かけて行く事の方が効くようです。岡田地区のサークル発表に出て行き、自分が話しやすい人達と楽しく話し合います。

惚けないための秘訣とは？

岡田町 小野 静一

生活雑記

睡眠をきちんと
して、その上で
自分に合った薬
や漢方薬を処方
してもらうのが、惚けず
に長生きする秘訣だと言
えるでしょう。

さあ、みなさんも楽しく
岡田地区のサークル発表に
出て行き、自分が話しやす
い人達と楽しく話し合いま
しょう。